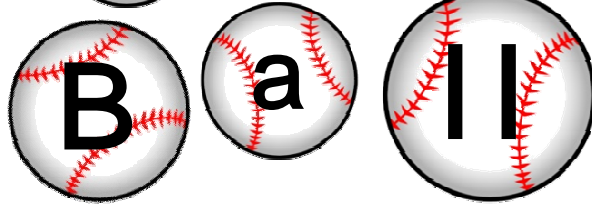




〒014-0054  
大仙市大曲金谷町26-9  
TEL:0187-63-2257  
FAX:0187-62-3434  
http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp



**キャッチボール**  
～地域に開かれた農場を目指して～



### 農場長(佐々木 惇)より

本年度、農場長を務めます佐々木惇(あつし)です。  
桜の季節も「あっ」という間に通り過ぎ、水田では田植え作業も始まりました。これから1年、農場の様子を写真と共に皆さんにお伝えしていけるよう、職員一同、カメラを片手に、生徒と共に農場での実習に取り組んでいきます。農場には、いろいろなお客さんが訪れますので、紹介していきたいと思ひます。  
(写真は、中央保育園児の桃の花見の様子です)



### 水田部門



(担当: 藤井亨、高橋寿徳、佐々木尚人、黒田一久)



写真の代かきと並行して田植えも始まりました。今年もあきたこまち、ゆめおぼこ、ひとめぼれ、きぬのはだ(もち米)に加え、特別栽培米「大曲花火米」のあきたこまちが3年目の作

付です。管理を頑張って、秋にはおいしい大農米をいただきたいものです!

### 小家畜部門



(担当: 田口健一、佐藤晴輝)

3月に導入したニワトリも卵が大きくなり、サイズがそろってきました。第1回定期考査も終わり、機会を作って販売実習を行いますので、その際はよろしくお祈ひします。

なお、農業科学館におきましても週末を中心に卵を販売しておりますので、そちらもよろしくお祈ひします。

### 中家畜部門



(担当: 守屋拓、佐藤潤之介)

早苗振り豚汁用のブタたちはすくすく育っています。サナちゃんは176kg、ブリちゃんは119kgでした(5月20日時点)。さて、どんな味がするのでしょうか。きっとみなさん思ひ思ひの味がすることでしょう。



2頭の新しい母豚がきました。これから頑張ってたくさんの子豚を産んでくれるよう皆さん実習の際はよろしくお祈ひします。

### 大家畜部門



(担当: 佐々木惇、佐藤晴輝)

4月23日(木)にまさみが雄牛を出産しました。名前は大農昌(だいのうまさし)です。順調に生育してい



ます。7月には、だいのうなぎさ、8月にはさくらこが出産予定です。これから、牛舎内は賑やかになると思ひます。

### 花卉部門



(担当: 平塚祥広、山代和也)



花壇用の苗が出荷ピークを迎えています。ベゴニアをはじめ、サルビアやマリゴールドなど大仙地域を中心にいろいろなところで地域の皆さんに楽しまれていくことでしょう。食糧生産ももちろんですが、大農で生まれ育った草花が全く違う場所で花を咲かせ、地域に溶け込むことはよく考えてみれば奇跡のような出来事です。これから皆さんが目にする花壇の花がもしかしたら大農で生まれたものかもしれません。そう思うことも草花の楽しみ方です。

## 果樹部門



(担当：佐々木孝之、佐藤農)

5月の連休を迎える頃にモモ、ナシ、リンゴの開花が揃いました。モモは4月下旬から開花し、散り始めといったところでした。雪解けが早く、開花も早いのではと思っていましたが、例年並みとなりました。試験的な取り組みとしてサクランボの植え付けをしてみました。来年の開花(本来は3年目に開花するらしいのですが)に期待しています。



## 野菜部門



(担当：古戸毅、和泉有紗、富樫久雄)

平成27年度の野菜部門は富樫、古戸、和泉が担当となります。どうかよろしくお願ひします。昨年育苗用ビニールハウスの撤去によって夏野菜苗の育成が不可能となり、販売できませんでしたが、今年から新ハウスで野菜苗の育苗が可能となり、ナス・トマト苗の販売を再開しますのでどうかご利用願ひします。ナスは水ナス、丸ナス、長ナス、トマトは大玉(ホーム桃太郎)、中玉(フルティカ)、ミニ(アイコ)の各3種類です。生徒と職員が丹精込めて育てた”一品”ですので是非ご家庭等で育て上げ、結実させてください。

昨年秋に1年生が播種した白菜を結球しないまま越冬させ、春に抽だい(塔立ち)させて葉や蕾(つぼみ)、花びら(可憐な黄色)を収穫し、食べてもらいました。秋に収穫できなかったハクサイやコマツナなどの葉菜類はこのような方法で春に色と味、花の香りの3つを楽しめるのです。特におすすめるのはコリコリとした食感の蕾です。進級した2年生や担任の先生に味わってもらいました。皆さんもいかがですか。



## 食品加工部門



(担当：伊藤寿人、三嶋登忍)

味噌の仕込み実習が始まりました。味噌などの発酵食品は、はるか昔に、その土地に生まれ、生活した人々が自然と共生しながら、たゆまぬ努力と長い時間をかけて作り出した食品です。実験実習をとおして、味噌の製造方法と原理などを学びます。さらに、微生物のもつ偉大な能力や製造技術の進歩について、食品製造専攻生らしく知識を深めます。



## 生物工学部門



(担当：大沼克彦、大坂淳、照井豊和、小林和成)

新しい順化温室です。中ではカーネーションが大きなつぼみをつけています。農家さんは母の日に合わせて出荷しているのですが、本校ではちょっと遅れてしまいました。生き物は思い通りにならない難しさがありますね。まもなく販売しますので、カーネーションの美しさを鑑賞してはいかが？

